

参加申し込み要領

■参加費

会員：5,000円 会員外：6,000円 退職者：3,000円
学生：2,000円 オンライン参加：3,000円

■宿泊費

15,000円（8/2泊8,000円、8/3泊7,000円）
8/2泊：8/2昼食・夕食 8/3朝食
8/3泊：8/3昼食 8/4朝食（夕食は交流会となります）
交流会費4,000円 8月4日昼食700円

■ご宿泊の注意

- ・ご宿泊の際は、就寝用の衣類、歯ブラシ、タオルをご持参くださいますようお願いいたします。
- ・お部屋はすべて個室となっております。
- ・宿泊の詳細は教職員支援機構のHPよりご確認ください。

■大会会場での服装

大会会場（研修棟）では、半ズボンの着用をご遠慮ください。なお、研修棟外での着用は差し支えございません。

■オンライン参加の注意

本大会は、対面参加を中心に計画しています。回線等の状況により十分な対応ができない場合があることをあらかじめご承知おきください。対面での参加申し込みをされた方は、オンライン参加のアカウントもご案内します。

■申し込み方法

技術教育研究会（<https://gikyouden.com/>）の申し込みページより、オンラインで受け付けます。
参加費支払いは申し込みの際に、オンライン決済が振込み用紙による決済かを選べます。（オンライン申し込みができない方は大会事務局までご連絡ください。）

参加申し込み締切 7月25日(金)

支払い後キャンセルをされた場合は、旅行会社規定と同様に扱います。

■問い合わせ・連絡先

第58回大会事務局 大会実行委員長 辰巳育男
〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮5-16-1
大阪工業大学2号館2階
TEL:06-6954-4394 FAX:06-6957-0610
ikuo.tatsumi@oit.ac.jp

■会場へのアクセス

アクセスの詳細は教職員支援機構のHP（<https://www.nits.go.jp/>）をご参照ください。自家用車での来場をお勧めします。（会場内の駐車料金は運営が負担いたします）

研究学園駅からバスでお越しの方

研究学園駅北口の1番のりば「やすらぎの里しもつま」行き、または「とよさと病院」行き（つくバスY01吉沼シャトル）に乗りし「教職員支援機構」下車まで約15～30分、200円です。

※土日のバスの本数は非常に少ないです。8月2日の開会集会への参加には11:30発のバスをご利用ください。（次バス13:00、14:55）

タクシーでお越しの方

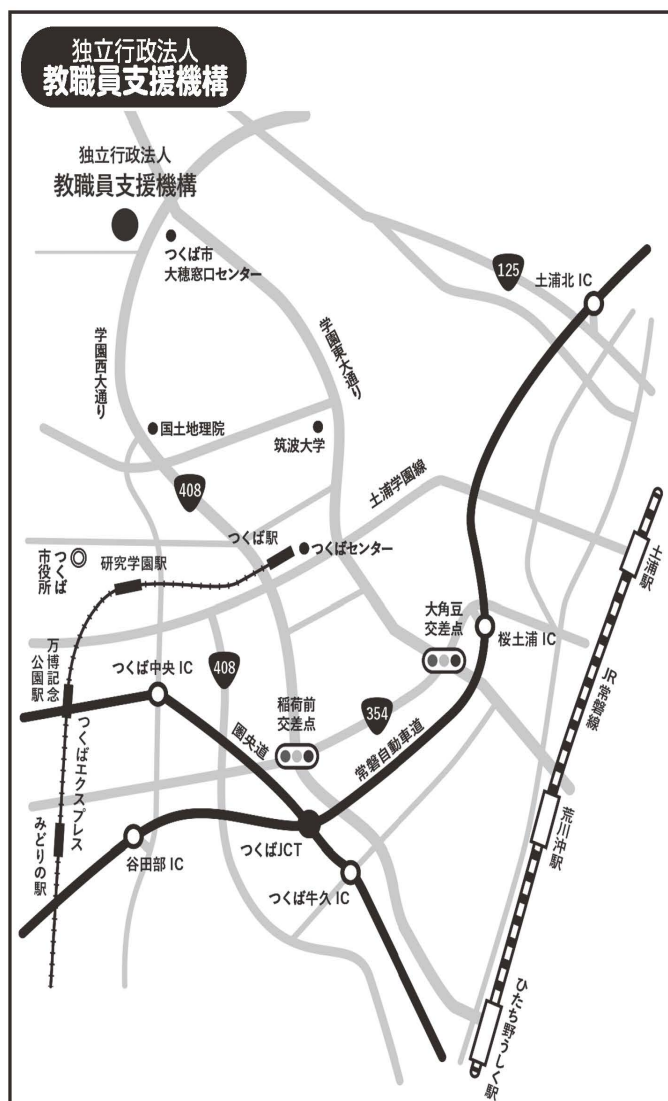
つくば駅A3出口付近にタクシー乗り場があります。教職員支援機構まで約15分、運賃は約3,300円です。

■発表資料について

- (1) 発表を希望される方は、7月25日（金）までに分科会世話人までご提出ください。
※詳細は技教研のページをご覧ください。
- (2) 今大会では発表資料の印刷は実行委員会が行いません。発表資料はご自身で印刷の上ご持参ください（内容別分科会80部、問題別分科会20部）。
- (3) 出張依頼状が必要な方は返信用封筒（送付先を記入し、84円切手を添付してください）を同封した手紙を大会事務局までご請求ください。

■荷物等の発送について

大会当日まで物品を預かることができません。そのため荷物は8月2日の午前必着に指定しての発送をお願いします。



技術教育研究会 第58回全国大会 つくば大会案内

国民のための技術・職業教育の創造を!

—すべての子ども・青年を持続的発展可能な社会の主人公に—

日時：2025年8月2日(土)～4日(月)

場所：教職員支援機構

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

電話 029-879-6613

主催：技術教育研究会 後援：独立行政法人教職員支援機構 茨城県教育委員会 つくば市教育委員会

記念講演

人間としての尊厳を保障する技術・職業教育を

— 学校内の普通教育を中心に —

副代表委員 坂口謙一（東京学芸大学教授・日本職業教育学会長）

大会日程	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	2日(土)				受付	開会集会 記念講演		実技・ 理論講座		夕食	実技・ 理論講座			
	3日(日)	朝食	内容別 分科会		昼食	内容別分科会		総会	交流会					
	4日(月)	朝食	問題別 分科会	閉会 集会	昼食	地域の技術 見学会								



つくば大会へのお誘い

大会実行委員長 辰巳育男（大阪工業大学）



技術教育研究会は、1960年から活動が続けている民間の教育研究会で、技術・職業教育をより豊かで実りある学びにすることを目指しています。2025年には、茨城県つくば市にある「教職員支援機構」を会場に、第58回全国大会を開催いたします。

つくば市は、日本最大級の学術研究拠点「筑波研究学園都市」として発展してきた街で、科学技術・医療・宇宙・環境など、さまざまな分野の最先端研究が行われています。自然と都市の機能が調和し、訪れる人の知的好奇心を刺激する、とても魅力的な場所です。

大会の会場である教職員支援機構は、かつての国立教育会館を前身とし、長年にわたり教員研修の中心として活用されてきた施設です。この恵まれた環境を最大限に活かしながら、3日間にわたって、これからの技術・職業教育について、みなさんと一緒に深く学び合える時間を共につくっていきたくと願っています。

技術
教育
研究会

代表委員：尾高進（工学院大学）

事務局長：正田祥人（大阪工業大学）

事務局：〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1 大阪工業大学

TEL 06-6954-4359 Email: yoshito.hikida@oit.ac.jp

Webサイト：<https://gikyouden.com/index.html>

第1日目

2日(土)

開会集会・講演

(13:00～15:30)

基調報告：技術教育研究会常任委員会

記念講演：人間としての尊厳を保障する技術・職業教育を
一学校内の普通教育を中心にー

坂口謙一

(東京学芸大学教授
日本職業教育学会長)

実技・理論講座

前半 16:00～17:30 後半 18:30～20:00

以下6つの講座から2講座を選択し、ご参加ください。定員がある場合は申込先着順になります。

理論講座の一部のみオンライン配信します。

理論講座

1. 「生成AI時代」の学力論と技術教育

◎須藤敏昭 (大東文化大学名誉教授)

オンライン参加
も可能

ChatGPTの出現以来、人工知能(AI)技術の開発・普及は急速で、社会に大きなインパクトを与えています。AI研究者や言語学者らがかねてから気にかけていた「記号接地問題」を今どう読み解けばよいのかを糸口に、「学力論再考」「今後の技術教育」の2つの柱で話します。

2. つくば市幼小中でのAI活用実践報告

◎谷池真彦 (つくば市立竹園西幼稚園園長
前つくば市立みどりの学園義務教育学校校長)

定員10名

講師の谷池先生は、令和5年度までつくば市立みどりの学園校長としてつくば市のAI実践を先導されてきた元技術科教師です。現在は竹園西幼稚園の園長先生としてAIだけでなくARやVRなどの様々な先進的な取り組みをされています。最先端のつくば市の取り組みを紹介いただきます。

3. 日本型教育の視点からキャリア教育を問い直す

◎京免徹雄 (筑波大学)

オンライン参加
も可能

Tokkatsuをはじめとする日本型教育の海外展開は、日本の学校に何を投げかけているのでしょうか。本講座では、国際比較から浮かび上がった日本型教育の光と影に注目しながら、特別活動を要とするキャリア教育の意義と課題について検討し、社会正義に貢献する全人的な「ともに歩む」キャリア教育を提案します。

4. 作って・判る・楽しい教材

◎児島高德 (大学非常勤講師(工業))

参加費用 500円

定員8名

いろいろな教材を体験や作ってみませんか? 作ると原理が判って楽しい授業が出来ると思います。情報では「暗号で遊ぼう」や製図は「線から始まる今何時」、ワードで作る「長文字で遊ぼう」、レインボーふんぶん」など基礎から新しい教材やハードもソフトも。教材を知って生徒と授業を楽しみましょう。ノートPCがあると便利です。

5. 木工作の秘伝

◎濱野吉美 (元つくば市立並木中学校技術科担当)

参加費用 1000円

定員 10名

木工作では一生懸命な生徒ほど様々な失敗をするものです。生徒に正確にのこぎきさせる方法や、失敗のリカバリー術を伝授します。模型歴50年のアマチュアモデラーでもある濱野先生ならではの目から鱗の技をぜひお持ち帰りください。90分の時間で製作可能な木製品を製作しながら体験いただきます。

6. 「特許からみえるものづくりの世界」
～元審査官から特許の調べかたを学ぼう

◎INPIT 職員
◎川俣純 (阿見町立朝日中学校)

授業開きで使える「特許検索」の授業を紹介します。実際の特許検索サイトを通してものづくりの本質を生徒が感じる授業です。特許の検索については特許庁の元審査官である独立行政法人 工業所有権情報・研修館 (INPIT)の職員の方に本格的な使用方法について教えていただきます。参加にはPCの持ち込みが必要です。

実技講座

第2日目

3日(日)

内容別分科会

(9:00～16:00)

A・Bの分科会に分かれて以下の内容を行います。いずれもオンライン配信します。オンライン発表も可能です。

A 小学校・中学校の技術教育

代表世話人：青木麟太郎、坂田桂一、笹倉千紗子、依田実

子どもの学びの姿と教師の想いから、これからの技術教育を考えよう

予測困難な時代、子どもの姿や成長、教師の想いも多様になってきました。「まずは試してみる。失敗と改良を重ねてよりよい作品を生み出していく。」そんな1度の失敗が許されないものづくりとは異なる体験。子どもたちは今、技術教育を契機とし、どのような気づきや学びを得ているのでしょうか? 本分科会では技術教育をきっかけとした子どもの気づきや学びに基づきつつ、これからの技術教育についてともに検討したいと思います。技術やものづくり、製図、エネルギー変換や栽培、制御と通信、プログラミング等に関わる小学校・中学校での実践報告を募集します。またそうした豊かな技術教育を支える教育条件整備や教員養成等について、広く交流したいと思います。教材や授業の構想、日頃の技術教育への思いや失敗談等、ありのままの教育実践を持ち寄り、明日の授業をともによりいいものにしていきませんか?

B 高校・高専・高校後の技術・職業教育

代表世話人：高岩千尋、竹谷尚人、辰巳育男

教育実践を柱として全国の先生方との交流を深めよう

高等学校、高等専門学校、大学、専門学校を主な対象として、現場における授業実践、教育活動について討議します。討議を通して参加者同士の交流を深めてまいりたいと思います。普段の教育活動を活発に語り合いましょう。下記のテーマでレポートを募集します。特に工業高校の授業づくりに関するレポートが不足しています。短いものでも構いませんので、お寄せいただくと大変助かります。どうぞよろしくお願いいたします。※主なテーマ①工業高校の現場で困っていること、取り組んでいること ②工業高校の授業づくり ③工業教員免許の教員養成 ④保護者、生徒、外部から工業高校に期待すること ⑤工業高校以外の専門高校、工業情報科、高専、大学、諸外国のレポート

総会

(16:30～17:30)

1年間の活動を振り返り、次年度の活動方針を検討します。

交流会

(17:30～19:30)

夕食を兼ねて参加者全員で交流を深めます。地域サークルの活動紹介や若手の紹介など、盛りだくさん。

第3日目

4日(月)

問題別分科会

(9:00～11:00)

C 技術史と教育

(長谷川雅康、石田正治、竹谷尚人)

※オンライン参加も可能

技術史の教材化により学習が身近になり、豊かになる事例を交流するほか、外国の博物館等の見聞を共有します。今回も日本技術史教育学会との共催。各地の産業遺産、授業実践報告を募集中です。オンライン参加対応の予定(問い合わせ:竹谷 hisato.takeya@gmail.com)

D 諸外国の技術・職業教育

(横尾恒隆、木下 龍、西 美江)

※オンライン参加も可能

日本の技術・職業教育について論じる際に、国際的な動向を無視することはできません。諸外国の技術・職業教育の動向を知ることにより、日本の技術・職業教育の特徴や問題点がみえてきます。この分科会では、特定の1～2ヶ国を対象としたレポートの報告とそれに基づく討論を通して、諸外国の技術・職業教育の動向について検討します。

E 子ども・青年の発達と技術・職業教育

(平箱善明、直江貞夫、坂田桂一)

※オンライン参加も可能

今日の閉塞感漂う社会に生きている子ども・青年たちは、何に悩み、苦しんでいるのだろうか。何が彼らの発達を阻害してしまっているのだろうか。私たちは技術・職業教育に携わる立場から、今日の子ども・青年を見つめ、彼らの思いや願いに寄り添いながら、彼らの健やかな発達を促す手だてを探っていきたい。

F 技術教育の授業づくり

(川俣純、依田実、笹倉千紗子、吉澤康伸)

※オンライン参加も可能

「こんな授業を実践しています。何か助言を頂けませんか!」とか「こんな授業をやりたいです!」といった気軽な報告を歓迎します。可能なら、教材や作品をぜひ現地までお持ち帰りください!ノートPCで写真や動画をプロジェクター画面に写していただくことも可能です。

G 障害児・者の技術・職業教育

(井川大介、尾高 進)

※オンライン参加も可能

障害をもつ子ども・青年の技術・職業教育について、学生と現場の先生方と一緒に実践交流を交えつつ率直に交流します。関心のある方はどなたでも大歓迎です。

H 技術・職業教育の教員養成

(田中喜美、正田祥人)

※対面のみ

教員不足が叫ばれている近年、質の高い教員をいかに確保するかが大きな課題となっています。本分科会では、技術・職業教育の教員養成・採用・研修を国内の政策動向や各大学での実践交流を行いたいと思います。この分野に興味・関心のある方はどなたでも歓迎いたしますので、ご参加ください。

閉会集会

(11:00～12:00)

内容別分科会の報告

参加者からの感想

大会総括

地域の技術見学会 (14:30～16:00 予定)	サイバーダインスタジオ (定員30名) 参加費1400円	最先端のロボット技術を体験できる見学会です。装着型サイボーグ「HAL」について解説や映像から学びます。3名までが実際に体験することができます。会場までの移動は参加者各自でお願いします。(吉沼シャトルバスをご利用ください)
-------------------------------------	--	--